

# 荷澤宗研究

慧堅の活動と  
禪宗史の再編

伊吹敦著

A5判・上製カバー・九二八頁・定価一二、一〇〇円

2026年3月刊行

伊吹敦著

IBUKI Atushi

## 荷澤宗研究

慧堅の活動と禪宗史の再編

慧堅の活動と禪宗史の再編

『六祖壇經』は誰によって、  
どのように“偽撰”されたのか？

慧會の弟子の慧堅が初期禪宗史上で果した役割を解明し、慧能が  
「六祖」となった経緯を初めて明らかにする。

法藏館 定価：本体11,000円(税別) 中国仏教

道半ばで斃れた神会の遺志を引き継いで、慧堅と弟子たちが慧能を「六祖」に位置づけるために行つた『六祖壇經』や『金剛經解義』の偽撰等の活動の全貌を文献学的に解明し、初期禪宗史研究を新たな段階へと導く画期的研究。

序

第一部 荷澤宗の活動と反響

第一章 荷澤宗としての

神照・宗密の正統性

第二章 荷澤宗研究のための基礎資料

第三章 荷澤宗の人々の生涯と活動

第四章 荷澤宗慧堅派による

敦煌本『六祖壇經』の創成

第五章 敦煌本『六祖壇經』の

成立に關する二三の問題

第六章 敦煌本『六祖壇經』の成長

第七章 新たな慧能・神會の

著作の創成

第八章 『金剛經解義』の偽撰

『雜徵義』の展開としての

『頓悟入道要門論』

第九部 西天・東土の祖統の整備

結論

第VI部 思想と文獻から見た

荷澤宗から洪州宗への推移

第VII部 慧堅の飛錫への影響と馬祖禪

第VIII部 大珠慧海への假託と

『頓悟要門』の成立

第IX部 文獻名略稱一覽／参考文獻一覽

第十章 「東土六祖」の碑銘の偽撰

第十一章 慧能＝玄策系による慧能傳の

洪州宗の慧能から

第十二章 洪州宗による慧能傳の編輯

編輯——『曹溪大師傳』

——李舟編『能大師傳』

第十三章 慧堅の飛錫への影響と馬祖禪

第十四章 『頓悟入道要門論』の

大珠慧海への假託と

『頓悟要門』の成立

第十五章 『頓悟入道要門論』

第十六章 『頓悟要門』の成立

第十七章 『頓悟要門』の成立

第十八章 『頓悟要門』の成立

第十九章 『付法簡子』と

『西國佛祖代代相承傳法記』

第二十章 「東土六祖」の碑銘の偽撰

第二十一章 慧能＝玄策系による慧能傳の

洪州宗の慧能から

第二十二章 洪州宗による慧能傳の編輯

編輯——『曹溪大師傳』

——李舟編『能大師傳』

第二十三章 慧堅の飛錫への影響と馬祖禪

第二十四章 『頓悟入道要門論』の

大珠慧海への假託と

『頓悟要門』の成立

第二十五章 『頓悟要門』の成立

第二十六章 『頓悟要門』の成立

第二十七章 『頓悟要門』の成立

第二十八章 『頓悟要門』の成立

第二十九章 『付法簡子』と

『西國佛祖代代相承傳法記』

第三十章 「東土六祖」の碑銘の偽撰

第三十一章 慧能＝玄策系による慧能傳の

洪州宗の慧能から

第三十二章 洪州宗による慧能傳の編輯

編輯——『曹溪大師傳』

——李舟編『能大師傳』

第三十三章 慧堅の飛錫への影響と馬祖禪

第三十四章 『頓悟入道要門論』の

大珠慧海への假託と

『頓悟要門』の成立

第三十五章 『頓悟要門』の成立

第三十六章 『頓悟要門』の成立

第三十七章 『頓悟要門』の成立

第三十八章 『頓悟要門』の成立

第三十九章 『付法簡子』と

『西國佛祖代代相承傳法記』

第四十章 「東土六祖」の碑銘の偽撰

第四十一章 慧能＝玄策系による慧能傳の

洪州宗の慧能から

第四十二章 洪州宗による慧能傳の編輯

編輯——『曹溪大師傳』

——李舟編『能大師傳』

第四十三章 慧堅の飛錫への影響と馬祖禪

第四十四章 『頓悟入道要門論』の

大珠慧海への假託と

『頓悟要門』の成立

第四十五章 『頓悟要門』の成立

第四十六章 『頓悟要門』の成立

第四十七章 『頓悟要門』の成立

第四十八章 『頓悟要門』の成立

第四十九章 『付法簡子』と

『西國佛祖代代相承傳法記』

第五十章 「東土六祖」の碑銘の偽撰

第五十一章 慧能＝玄策系による慧能傳の

洪州宗の慧能から

第五十二章 洪州宗による慧能傳の編輯

編輯——『曹溪大師傳』

——李舟編『能大師傳』

第五十三章 慧堅の飛錫への影響と馬祖禪

第五十四章 『頓悟入道要門論』の

大珠慧海への假託と

『頓悟要門』の成立

第五十五章 『頓悟要門』の成立

第五十六章 『頓悟要門』の成立

第五十七章 『頓悟要門』の成立

第五十八章 『頓悟要門』の成立

第五十九章 『付法簡子』と

『西國佛祖代代相承傳法記』

第六十章 「東土六祖」の碑銘の偽撰

第六十一章 慧能＝玄策系による慧能傳の

洪州宗の慧能から

第六十二章 洪州宗による慧能傳の編輯

編輯——『曹溪大師傳』

——李舟編『能大師傳』

第六十三章 慧堅の飛錫への影響と馬祖禪

第六十四章 『頓悟入道要門論』の

大珠慧海への假託と

『頓悟要門』の成立

第六十五章 『頓悟要門』の成立

第六十六章 『頓悟要門』の成立

第六十七章 『頓悟要門』の成立

第六十八章 『頓悟要門』の成立

第六十九章 『付法簡子』と

『西國佛祖代代相承傳法記』

第七十章 「東土六祖」の碑銘の偽撰

第七十一章 慧能＝玄策系による慧能傳の

洪州宗の慧能から

第七十二章 洪州宗による慧能傳の編輯

編輯——『曹溪大師傳』

——李舟編『能大師傳』

第七十三章 慧堅の飛錫への影響と馬祖禪

第七十四章 『頓悟入道要門論』の

大珠慧海への假託と

『頓悟要門』の成立

第七十五章 『頓悟要門』の成立

第七十六章 『頓悟要門』の成立

第七十七章 『頓悟要門』の成立

第七十八章 『頓悟要門』の成立

第七十九章 『付法簡子』と

『西國佛祖代代相承傳法記』

第八十章 「東土六祖」の碑銘の偽撰

第八十一章 慧能＝玄策系による慧能傳の

洪州宗の慧能から

第八十二章 洪州宗による慧能傳の編輯

編輯——『曹溪大師傳』

——李舟編『能大師傳』

第八十三章 慧堅の飛錫への影響と馬祖禪

第八十四章 『頓悟入道要門論』の

大珠慧海への假託と

『頓悟要門』の成立

第八十五章 『頓悟要門』の成立

第八十六章 『頓悟要門』の成立

第八十七章 『頓悟要門』の成立

第八十八章 『頓悟要門』の成立

第八十九章 『付法簡子』と

『西國佛祖代代相承傳法記』

第九十章 「東土六祖」の碑銘の偽撰

第九十一章 慧能＝玄策系による慧能傳の

洪州宗の慧能から

第九十二章 洪州宗による慧能傳の編輯

編輯——『曹溪大師傳』

——李舟編『能大師傳』

第九十三章 慧堅の飛錫への影響と馬祖禪

第九十四章 『頓悟入道要門論』の

大珠慧海への假託と

『頓悟要門』の成立

第九十五章 『頓悟要門』の成立

第九十六章 『頓悟要門』の成立

第九十七章 『頓悟要門』の成立

第九十八章 『頓悟要門』の成立

第九十九章 『付法簡子』と

『西國佛祖代代相承傳法記』

第一百章 「東土六祖」の碑銘の偽撰

第一百一章 慧能＝玄策系による慧能傳の

洪州宗の慧能から

第一百二章 洪州宗による慧能傳の編輯

編輯——『曹溪大師傳』

——李舟編『能大師傳』

第一百三章 慧堅の飛錫への影響と馬祖禪

第一百四章 『頓悟入道要門論』の

大珠慧海への假託と

『頓悟要門』の成立

第一百五章 『頓悟要門』の成立

第一百六章 『頓悟要門』の成立

第一百七章 『頓悟要門』の成立

第一百八章 『頓悟要門』の成立

第一百九章 『付法簡子』と

『西國佛祖代代相承傳法記』

第一百十章 「東土六祖」の碑銘の偽撰

第一百十一章 慧能＝玄策系による慧能傳の

洪州宗の慧能から

第一百十二章 洪州宗による慧能傳の編輯

編輯——『曹溪大師傳』

——李舟編『能大師傳』

第一百十三章 慧堅の飛錫への影響と馬祖禪

第一百十四章 『頓悟入道要門論』の

大珠慧海への假託と

『頓悟要門』の成立

第一百十五章 『頓悟要門』の成立

第一百十六章 『頓悟要門』の成立

第一百十七章 『頓悟要門』の成立

第一百十八章 『頓悟要門』の成立

第一百十九章 『付法簡子』と

『西國佛祖代代相承傳法記』

第一百二十章 「東土六祖」の碑銘の偽撰

第一百二十一章 慧能＝玄策系による慧能傳の

洪州宗の慧能から

第一百二十二章 洪州宗による慧能傳の編輯

編輯——『曹溪大師傳』

——李舟編『能大師傳』

第一百二十三章 慧堅の飛錫への影響と馬祖禪

第一百二十四章 『頓悟入道要門論』の

大珠慧海への假託と

『頓悟要門』の成立

第一百二十五章 『頓悟要門』の成立

第一百二十六章 『頓悟要門』の成立

第一百二十七章 『頓悟要門』の成立

第一百二十八章 『頓悟要門』の成立

第一百二十九章 『付法簡子』と

『西國佛祖代代相承傳法記』

第一百三十章 「東土六祖」の碑銘の偽撰

第一百三十一章 慧能＝玄策系による慧能傳の

洪州宗の慧能から

第一百三十二章 洪州宗による慧能傳の編輯

編輯——『曹溪大師傳』

——李舟編『能大師傳』

第一百三十三章 慧堅の飛錫への影響と馬祖禪

第一百三十四章 『頓悟入道要門論』の

大珠慧海への假託と

『頓悟要門』の成立

第一百三十五章 『頓悟要門』の成立

第一百三十六章 『頓悟要門』の成立

第一百三十七章 『頓悟要門』の成立

第一百三十八章 『頓悟要門』の成立

第一百三十九章 『付法簡子』と

『西國佛祖代代相承傳法記』